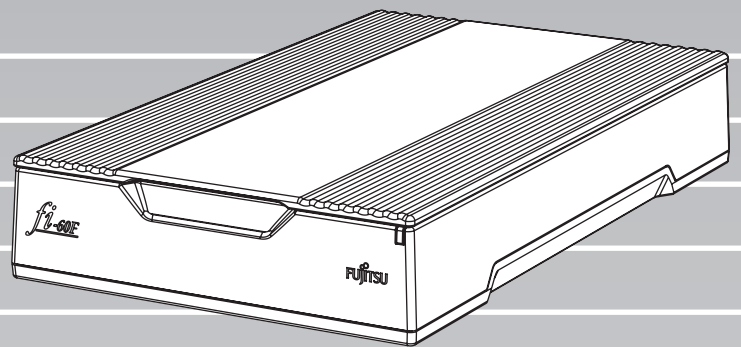




P3PC-1112-06Z0

fi-60F イメージスキャナ

オペレーターガイド



目次

はじめに.....	iii
■ 本書をお読みになる前に	vi
■ 安全上のご注意	viii
第 1 章 原稿を読み取ります	1
1.1 電源を投入します	2
1.2 原稿を読み取ります	3
1.3 スキャナドライバの使い方.....	5
1.4 原稿の傾きを自動で補正したいとき	18
1.5 指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて 読み取りたいとき	20
第 2 章 日常のお手入れ	23
2.1 清掃用具	24
2.2 スキャナの清掃をします	25
第 3 章 困ったときには	27
3.1 困ったときには	28
3.2 サービスセンターに連絡する前に.....	34
3.3 装置ラベルの確認	36
第 4 章 スキャナの仕様	37
4.1 装置基本仕様	38
4.2 設置諸元	39
4.3 外形寸法	40

索引 IN-1

修理・お問合せについて RM-1

はじめに



このたびは、fi-60F イメージスキャナをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
fi-60F は、カラー原稿を読み取ることのできるイメージスキャナです。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
本書およびスタートアップガイドに従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



電源高調波抑制について

本製品は JIS C 61000-3-2 適合品です。

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第 3-2 部：限度値—高調波電流発生限度値（1 相当りの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

使用済製品の廃棄とリサイクルについてのお願い

- 個人でご購入のお客様が本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、地方自治体の条例等に従って適切に処理してください。
- 法人、企業のお客様が本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、産業廃棄物扱いで適切に処理してください。

グリーン製品について

本製品は、当社の厳しい環境評価基準（リサイクル、省エネ化、環境にやさしい素材の採用など）をクリアした地球にやさしい「グリーン製品」として提供しています。詳細は富士通ホームページ「富士通の環境活動」をご参照ください。



いつも地球を見守っている

<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/>

複製について

紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、公共団体や民間団体発行の免許証許可証、公文書、私文書などの複製は違法であり、処罰の対象となります。

紙幣等の偽造防止について

紙幣、有価証券などをスキャナを使用してプリンタに不正に印刷すると、その印刷物の使用如何にかかわらず下記の法律に違反し、罰せられます。

刑法 第148条、第149条、第162条、通貨及証券模造取締法 第1条、第2条等

著作権について

書籍、絵画、版画、地図、図面および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内のその他、これらに準ずる限られた範囲内で使用する用途以外は、権利者の許可なしに複製することはできません。

本製品の海外への持ち出しについて

本製品（ソフトウェアを含む）は、日本国内専用ですので、日本国内でご使用ください。海外における使用に関しては、当社は一切責任を負いません。

商標および登録商標について

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、および SharePoint は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

ISIS および QuickScan は、EMC Corporation の米国における登録商標および商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、および Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

商標の表記について

本書では、次の用語について省略して記述しています。

Windows 2000	Windows [®] 2000 Professional operating system 日本語版
Windows XP	Windows [®] XP Home Edition operating system 日本語版、 Windows [®] XP Professional operating system 日本語版 (32/64 ビット版)
Windows Server 2003	Windows Server [®] 2003, Standard Edition 日本語版 (32/64 ビット版)、 Windows Server [®] 2003 R2, Standard Edition 日本語版 (32/64 ビット版)
Windows Vista	Windows Vista [®] Home Basic operating system 日本語版 (32/64 ビット版)、 Windows Vista [®] Home Premium operating system 日本語版 (32/64 ビット版)、 Windows Vista [®] Business operating system 日本語版 (32/64 ビット版)、 Windows Vista [®] Enterprise operating system 日本語版 (32/64 ビット版)、 Windows Vista [®] Ultimate operating system 日本語版 (32/64 ビット版)
Windows Server 2008	Windows Server [®] 2008 Standard 日本語版 (32/64 ビット版)、 Windows Server [®] 2008 R2 Standard 日本語版
Windows 7	Windows [®] 7 Home Premium operating system 日本語版 (32/64 ビット版)、 Windows [®] 7 Professional operating system 日本語版 (32/64 ビット版)、 Windows [®] 7 Enterprise operating system 日本語版 (32/64 ビット版)、 Windows [®] 7 Ultimate operating system 日本語版 (32/64 ビット版)

上記すべてのオペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、Windows と表記しています。

開発・販売元

株式会社 PFU
〒 212-8563
神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地 (ソリッドスクエア東館)
TEL: 044-540-4538

© PFU LIMITED 2004-2011

■本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくために

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要な事柄が記載されています。本製品をお使いになる前に、本書を熟読してください。特に、本書に記載されている『安全上のご注意』は、必ずお読みいただき、内容をよく理解されたうえで本製品をお使いいただくようお願いいたします。

また、本書は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるように、大切に保管してください。

本書で使用している警告表示について

本書では、製品を安全に、かつ正しくお使いいただき、お客様や他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。



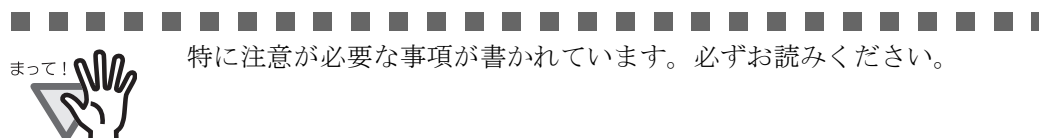
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



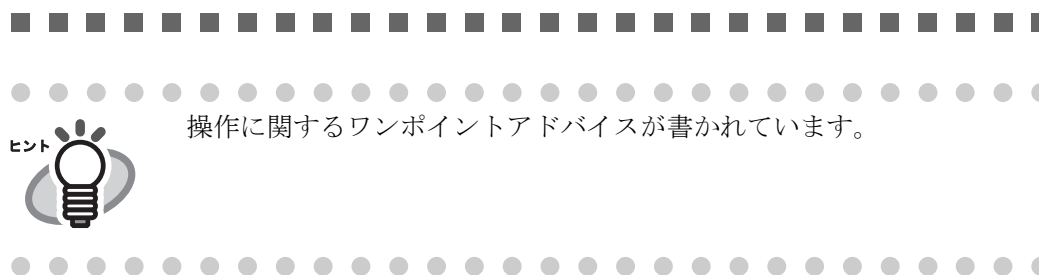
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

本書で使用している記号について

本書では、警告表示とは別に、説明中に以下の記号を使用しています。



特に注意が必要な事項が書かれています。必ずお読みください。



操作に関するワンポイントアドバイスが書かれています。



三角で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を示す絵が描かれています。



丸に斜線で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。



黒塗りの丸に白抜きで示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。

本書に記載されている画面について

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。

表示された画面が、本書に記載されている画面と異なる場合は、対象ソフトウェアの取扱説明書を参考にして、実際の画面に従って操作してください。

なお、本書に記載している画面は、TWAIN ドライバ、ISIS ドライバ、イメージキャプチャリングソフトウェア ScandAll PRO Lite および QuickScan™ のものです。

メンテナンスについて

当製品の修理はお客様自身で行わないでください。

製品をお求めになった販売店、あるいは 株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンター（RM-2 ページ）に連絡してください。

使用上のご注意

本製品として提供されるマニュアル、装置本体、およびその添付ソフトウェアは、お客様側の責任において使用してください。

本製品のご使用によって発生する損害やデータの損失については、当社では一切責任を負いかねます。

また、本製品の障害の補償範囲は、いかなる場合も本製品の代金としてお客様が支払った金額を超えることはありません。あらかじめご了承ください。

本製品にて提供される添付ソフトウェア、および本製品用として当社から提供されるアップデート用添付ソフトウェアについては、本製品と共に使用する以外の使用方法、および改変や分解について一切許可していません。

読み取り画像の原稿再現性について

本スキャナによって原稿を読み取ってつくられる画像電子データが、お客様の必要とする精度・品質をもつ複製であることは保証するものではありません。

読み取り画像電子データの寸法精度、忠実度、色調等における原稿イメージの再現性はお客様の責任においてご確認願います。

読み取った原稿を破棄する際は、必ず、読み取り画像データを点検し、欠落のないことを確認した上で、お客さまの責任の下で行ってください。

以下のような場合、データの一部が欠けたり、損失する場合があります。

当社では一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 原稿の状態によっては、読み取った画像にボケ、かすれ、ゆがみ、汚れ、欠けなどが発生して、原稿データの一部あるいは全部が欠落する場合があります。
- 読み取り設定（解像度、色数、読み取り面など）が不適切な場合は、以下のような不具合が発生することがありますので読み取り後必ず画像データを確認してください。
 - 解像度不足で文字が不鮮明となる
 - カラー原稿の読み取り画像が白黒となる
 - 両面原稿の片面しか読み取られない
- 自動傾き補正機能（原稿が傾いた状態で読み取られたときに、真直ぐな向きに画像データを補正して出力する機能）を用いた場合、画像の一部が欠けたり、サイズが縮小される場合があります。

■安全上のご注意

以下の警告事項において電源ケーブルは、ACケーブルとACアダプターを接続したものを含みます。



電源ケーブルを傷つけない



電源ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因になることがあります。

電源ケーブルを取り扱う際には、以下の点に注意してください。

- 濡らしたり、加工したり、結んだり、束ねたり、巻きつけた
りしない
- 重いものを載せたり、ドアなどにはさんだり、落下させたり、
衝撃を与えたりしない
- 引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしない
- 電源ケーブルのプラグに金属を近づけない

また、電源ケーブルや電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込み口がゆるい場合は、使用しないでください。

指定された電源ケーブルや接続ケーブルを使用する



指定された電源ケーブルや接続ケーブル以外は使用しないでください。感電や故障の原因となることがあります。

製品に添付された電源ケーブルを他の製品に使用しないでください。感電や故障の原因となることがあります。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。たこ足配線しない



表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。

また、たこ足配線をしないでください。

濡れた手で電源ケーブルを触らない



濡れた手で電源プラグを抜き差ししますと、感電の原因となることがあります。

電源プラグのほこりは、よく拭き取る



電源ケーブル、電源プラグの金属部、および金属部の取り付け面にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。火災や感電の原因となることがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない



油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所に設置しますと、火災や感電の原因となることがあります。

異臭がしたら使用しない



万一、機器から発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて電源を切ってください。煙が消えるのを確認して、販売店または株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンター (RM-2 ページ) に連絡してください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

機器を破損したら電源を切る



機器を落としたり、カバーなどを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて電源を切ってください。その後、販売店または株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンター (RM-2 ページ) に連絡してください。

内部に水や異物を入れない



開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が装置内部に入らないように気をつけてください。

本体に水をかけたり、濡らしたりしないでください。



異物（水、金属片、液体など）が機器の内部に入った場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて電源を切ってください。その後、販売店または株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンター (RM-2 ページ) に連絡してください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



むやみに内部を開かない



装置を分解したり、改造したりしないでください。内部に高電圧部分があります。

海外で使用しない

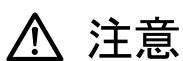


本装置は日本国内専用です。海外などで使用すると、火災や感電の原因になる場合があります。

エアスプレーを使用しない



清掃などの目的でエアスプレー及びアルコール 等を含むスプレーは使用しないでください。
スプレーから噴射される強い空気によって、埃などが装置内部に侵入し、故障や装置異常の原因となる場合があります。
また、静電気などによるスパーク（火花）により引火する恐れがあります。



装置を不安定なところに置かない



スキヤナのどの部分も机から突き出さないように置いてください。また、装置は底部の水平な部分を保持してください。



装置を不安定な場所に置かないでください。振動の少ない、装置が傾かないような平らな場所に置いてください。

電源プラグを確実に差し込む



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

装置の上に重いものを載せない、上に乗らない



装置の上に重いものを置いたり、装置の上で作業したりしないでください。けがの原因となることがあります。

寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させた場合は、すぐに使用しない



寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させると、機器が結露する場合があります。そのまま使用すると、原稿読み取り不良となる場合があります。暖かい部屋に1～2時間放置して、内部が乾いてから、使用してください。

装置を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜く



ケーブルを接続したまま装置を移動させますと、ケーブルが傷つき、火災や感電、けがの原因となることがあります。装置を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。

静電気を避ける



強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。また、静電気を避けてください。静電気を発生させますと、誤動作の原因になります。床材や設置する机には静電気を発生させない材質のものを選んでください。

長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く



長時間機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光の当たる場所に置かない



直射日光の当たる所や暖房機の近くには置かないでください。装置内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。また、通気性、換気性の良い場所で使用してください。

輸送ロックスイッチをロックしてから、本装置を運ぶ



本装置を運ぶ際には、装置の故障を防ぐために、輸送ロックスイッチをロック状態にしてください。

第1章

原稿を読み取ります

この章では、スキャナの基本的な操作について説明します。

この章では、Windows XP の画面を例に説明しています。

ご使用の OS によって表示される画面、および操作が多少異なります。

また、TWAIN ドライバ、および ISIS ドライバをアップデートすると、この章で記載している画面、および操作が多少異なることがあります。

その場合は、アップデート時に提供される取扱説明書を参照してください。

1.1 電源を投入します	2
--------------------	---

1.2 原稿を読み取ります	3
---------------------	---

1.3 スキャナドライバの使い方	5
------------------------	---

1.4 原稿の傾きを自動で補正したいとき	18
----------------------------	----

1.5 指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき	20
---	----

1.1 電源を投入します

ここでは、電源の投入について説明します。
本装置の電源はお使いになるパソコンの電源投入／切断と連動します。そのため電源スイッチはついておりません。
通常は AC アダプターを装置とコンセントに接続し、装置をパソコンに接続したままにしておけば、電源の投入／切断を意識することなくご使用いただけます。

パソコンの電源を入れると ...

Windows 起動に連動して、スキャナの電源ランプが点灯します。(電源投入)

パソコンの電源を切ると ...

スキャナの電源ランプが消灯します。(電源切断)

また、次のいずれかの操作によって、スキャナの電源を切断することができます。

- ・ USB ケーブルをスキャナまたはパソコンから外す。
- ・ AC アダプターをスキャナから外す。
- ・ 電源ケーブルをコンセントまたは AC アダプターから外す。

■ 低電力モードについて

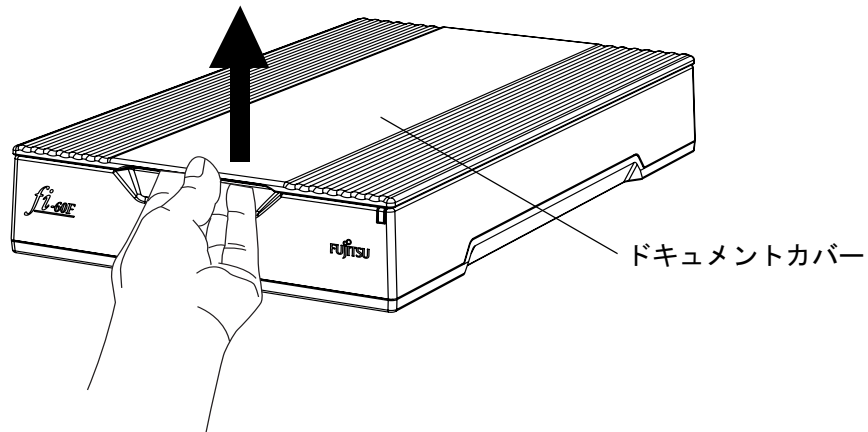
低電力モードとは、電源が投入されたスキャナの使用電力を低電力状態に保つことです。
スキャナの電源を投入したままで 15 分以上何も操作しないと、自動的に低電力モードに切り替わります。
緑色の LED ランプは点灯したままです。

低電力モードから復帰するためには、次の操作を行います。

- スキャナドライバにて読み取りをする。

1.2 原稿を読み取ります

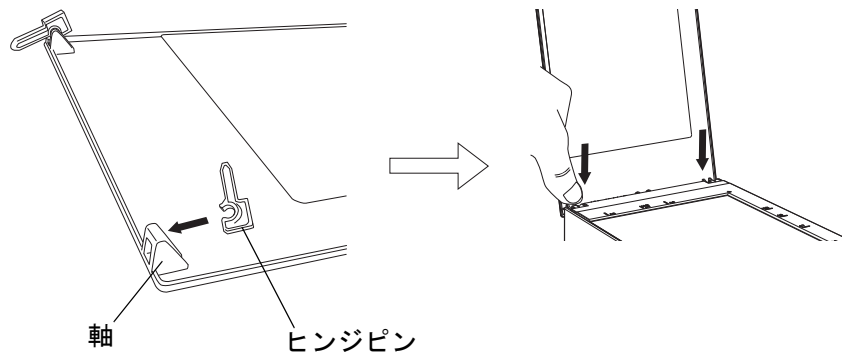
1. ドキュメントカバーを開きます。



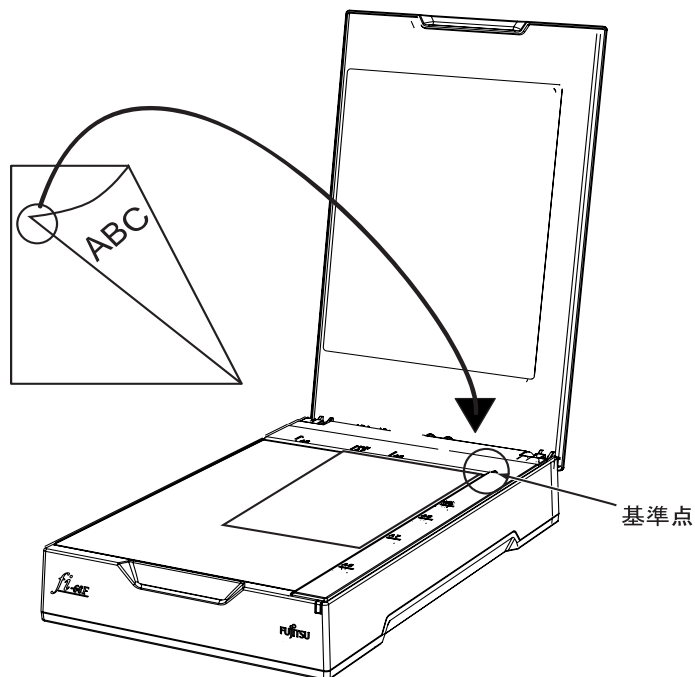
まって!

ドキュメントカバーを開きすぎると外れることがあります。これはヒンジ破損防止のためです。

ドキュメントカバーが外れたときは、ヒンジピンをいったんスキャナから抜き取り、ドキュメントカバーの軸にはめ込んでからスキャナに取り付けてください。



2. 原稿の表を下にして置き、原稿の左上端を基準点に合わせます。



3. ドキュメントカバーをゆっくりと閉じます。
4. スキャナ読み取りできるアプリケーションを起動して、原稿を読み取ります。
読み取り手順については、「1.3 スキャナドライバの使い方」(5 ページ)を参照してください。



- 本などの厚い原稿を読み取りする場合は、ドキュメントカバーを外して原稿をセットすることができます。
このとき、原稿を上から押さえて原稿台に密着させ、読み取り面が浮き上がらないようにしてください。
<注意>
以下の点にご注意ください。
原稿のカールや折れなどにより原稿が原稿台から浮き上がると、読み取った画像が不鮮明となります。
またドキュメントカバーを開けた状態では、室内蛍光灯などからの外光が原稿を透過して、画像の明るさに影響をおよぼす場合があります。
(厚みがうすい原稿ほど影響を受けやすくなります。)
このような場合は、ドキュメントカバーを閉じて読み取るようにして下さい。
- 原稿の読み取り中は、USB ケーブルや AC アダプタをスキャナからはずさないようにしてください。



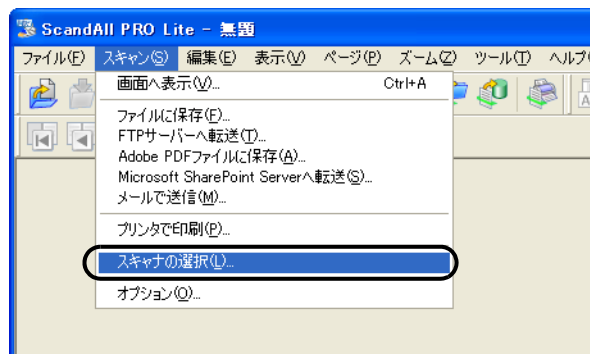
1.3 スキャナドライバの使い方

■ TWAIN ドライバ

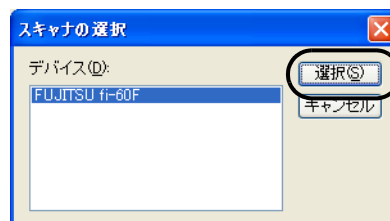
TWAIN ドライバは、TWAIN 規約に対応したアプリケーションを用いて、スキャナから読み取りを行うためのドライバソフトウェアです。
以下に、TWAIN ドライバを使用した一般的な読み取り手順について説明します。ここでは、「ScandAll PRO Lite」を用いて説明します。

TWAIN ドライバを用いた原稿の読み取り

- 1) アプリケーションを起動します。
[スタート] メニューから、[すべてのプログラム] - [Fujitsu ScandAll PRO Lite] - [Fujitsu ScandAll PRO Lite] を選択します。
- 2) スキャナ選択画面を表示して、使用するスキャナ名を指定します。
[スキャン] メニューの [スキャナの選択] を選択します。



- 3) 使用するスキャナを指定します。



「FUJITSU fi-60F」を選択して、[選択] ボタンをクリックします。

- 4) スキャナに原稿をセットします。
原稿のセット方法の詳細については、「1.2 原稿を読み取ります」(3 ページ) を参照してください。

5) TWAIN ドライバ画面を起動します。

[スキャン] メニューの「画面へ表示」を選択します。

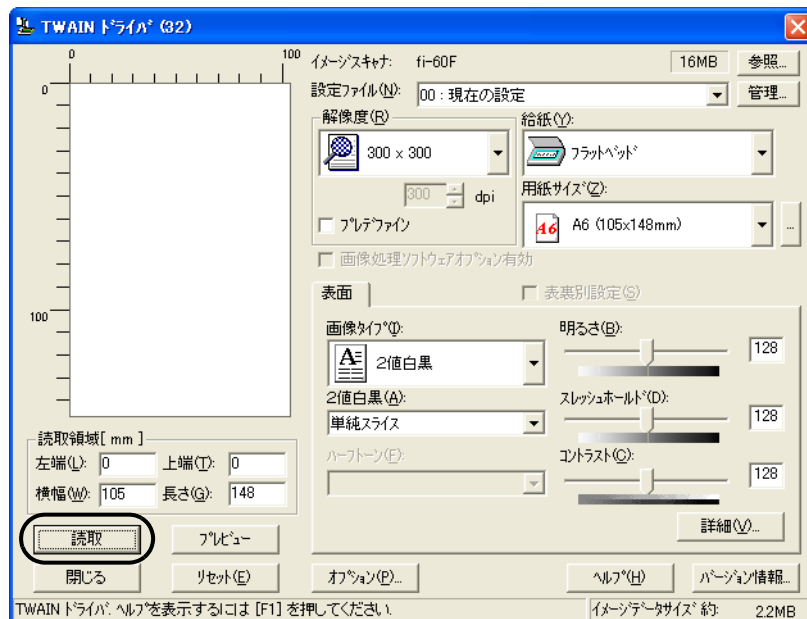


ScandAll PRO Lite では、以下のような読み取り方法があります。

- 「画面へ表示」：読み取った画像を画面に表示します。
- 「ファイルに保存」：読み取った画像をファイル (*.BMP, *.TIF, *.JPG) に保存します。
- 「FTP サーバへ転送」：読み取った画像を FTP サーバに転送します。
- 「Adobe PDF ファイルに保存」：読み取った画像を PDF ファイルにして保存します。
(※あらかじめ、Adobe Acrobat (別売) をインストールしておく必要があります。)
- 「Microsoft SharePoint Server へ転送」：
読み取った画像を Microsoft SharePoint Server に転送します。
- 「メールで送信」：読み取った画像を添付ファイルとして、メールソフトウェアを起動します。

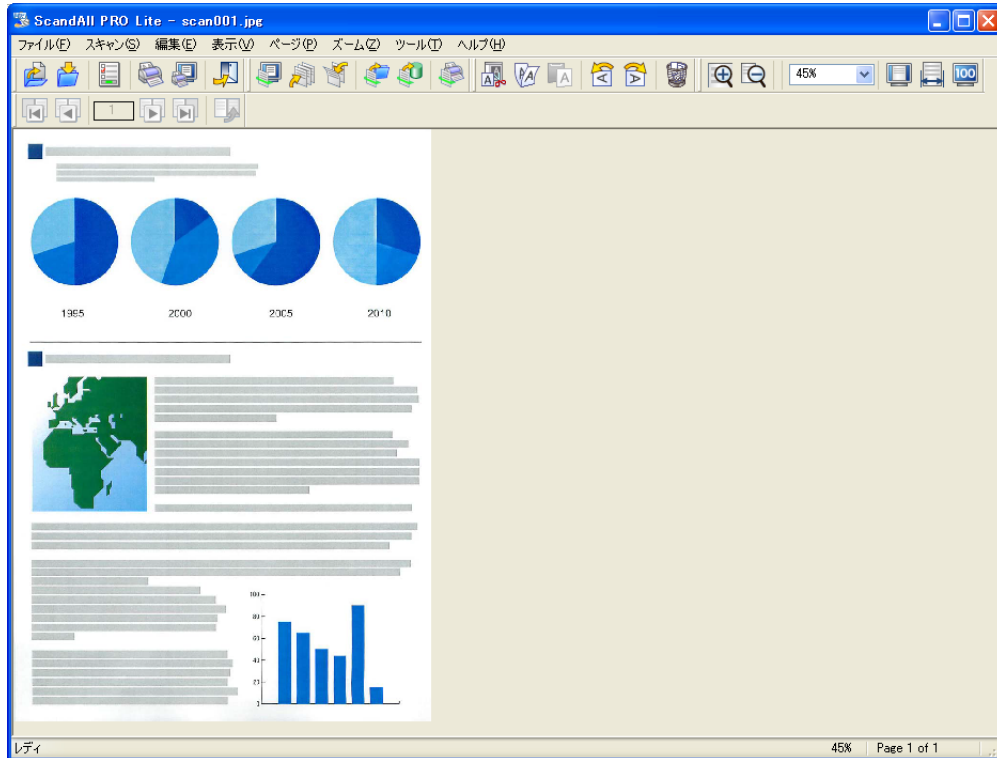
詳細は、「ScandAll PRO Lite ヘルプ」を参照してください。

6) 読み取り条件を設定して、[読取] ボタンをクリックします。



この画面で設定できる内容については、「TWAIN ドライバの設定」(8 ページ)を参照してください。

⇒ 原稿が読み取られ、ScandAll PRO Lite の画面にイメージが表示されます。

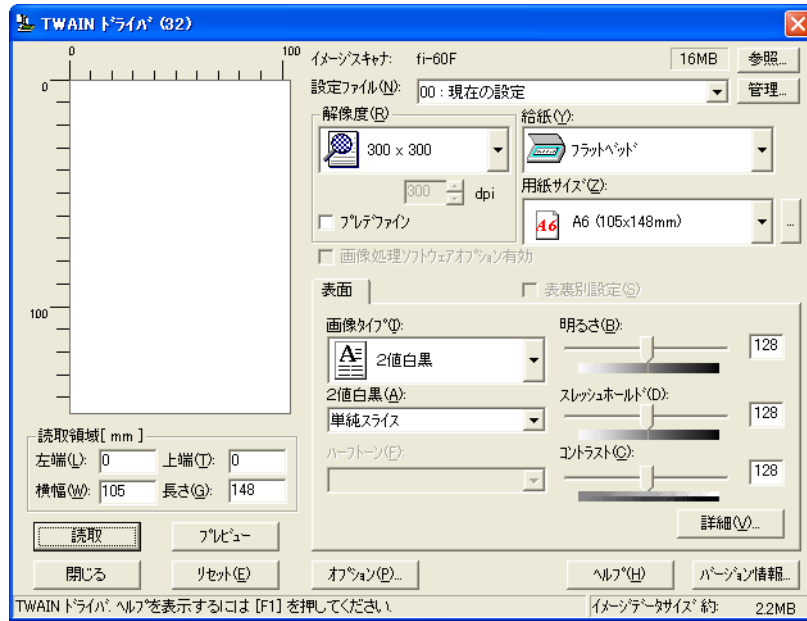


アプリケーションの設定によっては、画像が表示されない場合があります。詳しくは、お使いのアプリケーションの取扱説明書または、ヘルプを参照してください。

例) ScandAll PRO Lite の場合、「ファイルに保存」で読み取りを行うと、読み取った画像は画面には表示されません。

- 7) 読み取った画像を保存します。
 [ファイル] メニューの「名前をつけて保存 ...」を選択して、読み取った画像をファイルに保存します。
 続けて新しい読み取りを行う場合は、手順4に戻ってください。
- 8) アプリケーションを終了します。
 [ファイル] メニューの「終了」を選択します。

TWAIN ドライバの設定



TWAIN ドライバの設定は、この画面で行います。

以下に、代表的な設定項目について説明します。

- 各機能の詳細については、「TWAIN ドライバ ヘルプ」を参照してください。
（[ヘルプ] ボタン、または [F1] ボタンを押すと表示されます。）
- お使いのスキャナ装置の機種によって、設定できる項目や、設定範囲が異なります。

解像度

原稿を読み取る際の解像度を指定します。

定型（リストから選択）およびカスタム指定（1dpi 刻みで、任意の解像度を指定）ができます。

また、「プレデファイン」をチェックすると、あらかじめ設定された、「ノーマル」、「ファイン」、「スーパーファイン」の3つの解像度設定によって、簡単に読み取りを行うことができます。

プレデファインの設定は、[...] ボタンでお好みの設定に変更することもできます。

用紙サイズ

読み取る原稿のサイズを、表示されるリストの中から指定します。

[...] ボタンで、任意の原稿サイズを、最大3つまでカスタム設定として登録することができます。

また、表示されるリストの並び順を変更することもできます。

画像タイプ

読み取った画像を出力するイメージのタイプを指定します。

2値白黒	白と黒の2階調で読み取ります。
ハーフトーン	白と黒の2階調で中間調処理を行って読み取ります。
グレースケール	読み取った画像を白黒の明暗で階調表示します。256階調および4ビット(16階調)の中から選びます。
カラー	カラーで読み取ります。24ビット、256色、8色の中から選びます。

[読取] ボタン

現在の設定で、読み取りを開始します。

[プレビュー] ボタン

読み取り結果を事前に確認することができます。
現在の設定で試し読みを行い、プレビューウィンドウに表示します。

[閉じる] ボタン

現在の設定を保存して、画面を閉じます。

[リセット] ボタン

変更した設定項目を元に戻します。

[ヘルプ] ボタン

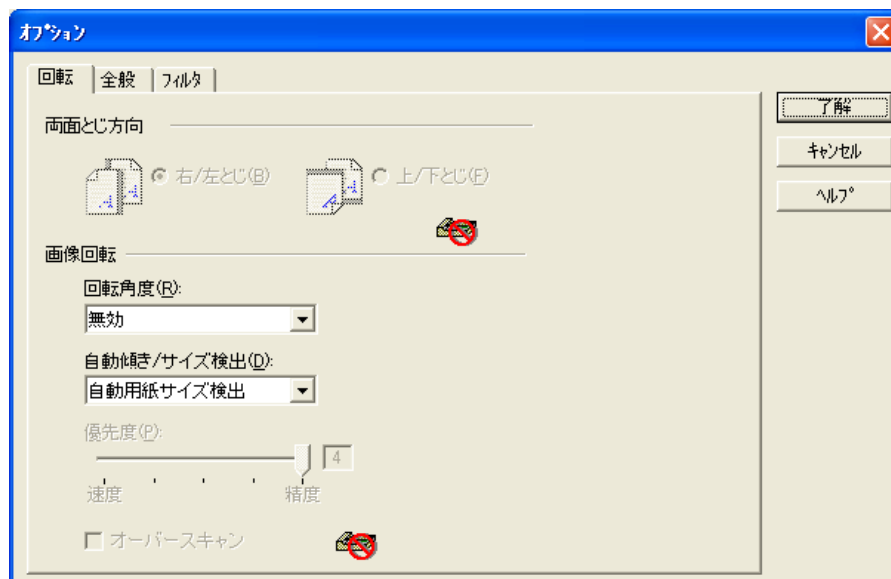
TWAIN ドライバのヘルプを表示します。[F1] ボタンでも表示することができます。

[バージョン情報] ボタン

TWAIN ドライバのバージョン情報を表示します。

[オプション] ボタン

以下の画面で、オプション機能の設定を行います。



[回転] タブ

画像の回転、自動用紙サイズ検出などの設定を行います。

[全般] タブ

TWAIN ドライバ画面に表示される単位の設定を行います。

ミリ (mm)、インチ (inch)、ピクセル (pixel) の中から選択します。

[フィルタ] タブ

画像処理フィルタの設定を行います。

縁消しフィルタ：読み取った原稿の周囲余白部分を、指定した色で塗りつぶします。

デジタルエンダーサ：読み取った画像のデータに、アルファベットや数字などの文字列を付加します。

[詳細] ボタン

画像処理に関するさらに詳細な設定を行います。

輪郭処理、ガンマ補正、ドロップアウトカラー、白黒反転などの設定が可能です。

[管理] ボタン

設定ファイルの管理を行います。

TWAIN ドライバ画面で設定した内容を、[設定ファイル] に保存しておくことによって、簡単に読み取り設定を変更することができます。

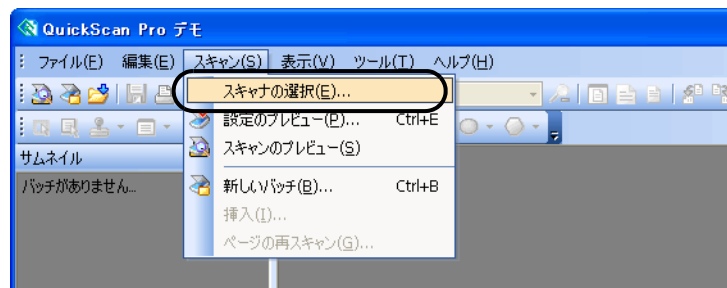
各機能の詳細については、「TWAIN ドライバのヘルプ」を参照してください。

■ ISIS ドライバ

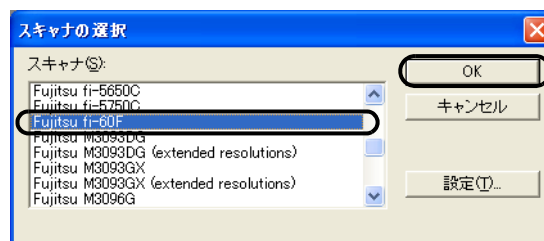
ここでは ISIS ドライバと QuickScan Pro の基本操作について説明します。
お使いのアプリケーションによって操作手順が異なる場合があります。
QuickScan Pro 以外のアプリケーションの場合、当該アプリケーションのガイドもしくはヘルプを参照してください。

ISIS ドライバを用いた原稿の読み取り

- 1) アプリケーションを起動します。
[スタート] から [すべてのプログラム] - [EMC Captiva] - [QuickScan] の順に選択し、[QuickScan] をクリックします。
- 2) メニューバーから [スキャン] - [スキャナの選択] を選びます。
⇒ 以下の画面が表示されます。

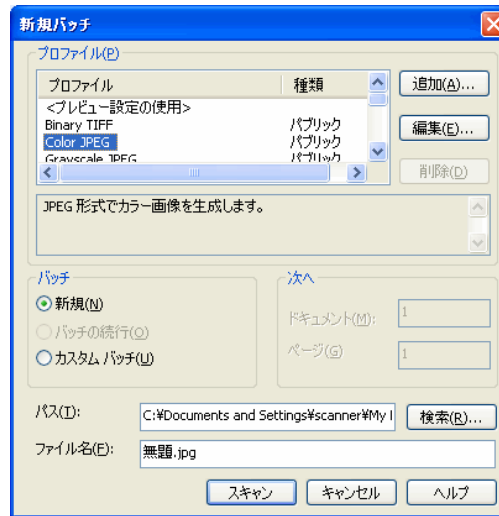


- 3) 「Fujitsu fi-60F」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



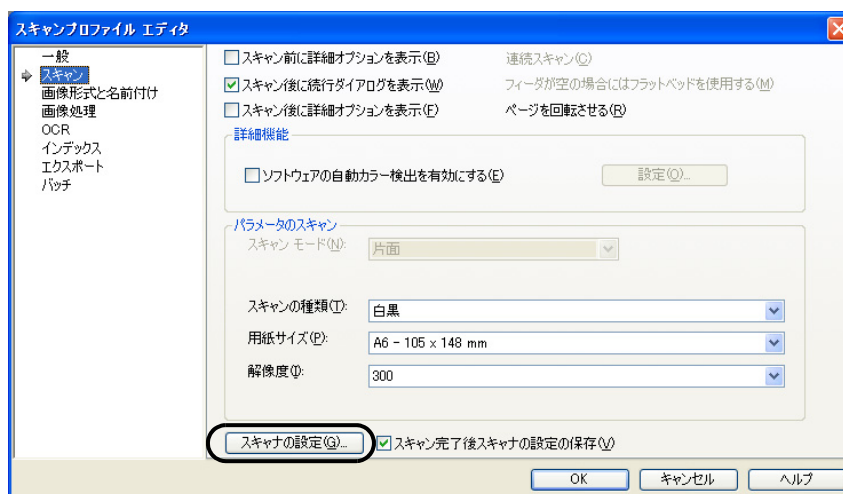
- 4) メニューバーから [スキャン] - [新しいバッチ ...] を選択します。

5) 以下の画面が表示されるので、プロファイルを選択します。



- **新しくプロファイルを作成する場合**
既存のプロファイルの中から一つを選択して、[追加 ...] ボタンをクリックします。
⇒ 選択したプロファイルを基に、新規プロファイルが作成されます。
- **既存のプロファイルの設定を変更して使用する場合**
既存のプロファイルの中から一つを選択して、[編集 ...] ボタンをクリックします。
⇒ 選択したプロファイルの設定が変更されます。
- **既存のプロファイルを使用する場合**
既存のプロファイルの中から一つを選択します。
⇒ 選択したプロファイルの設定で、読み取りを行います。
→ 手順9に進んでください。

6) [スキャン] タブを選択し、[スキャナの設定 ...] ボタンをクリックします。



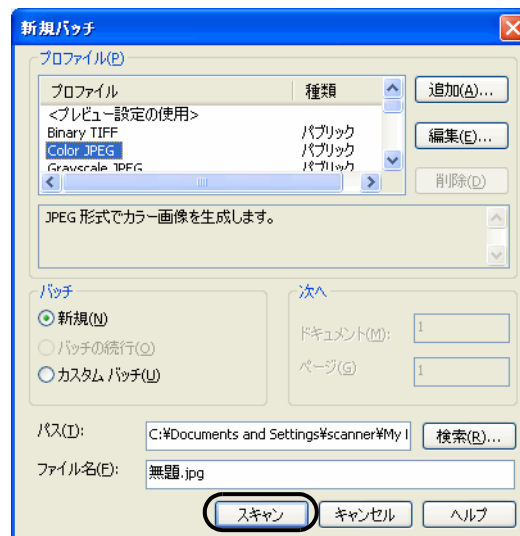
⇒ ISIS ドライバのダイアログが表示されます。

- 7) 必要な項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。



このダイアログボックスの詳細については、「ISIS ドライバの設定」(14 ページ) を参照してください。

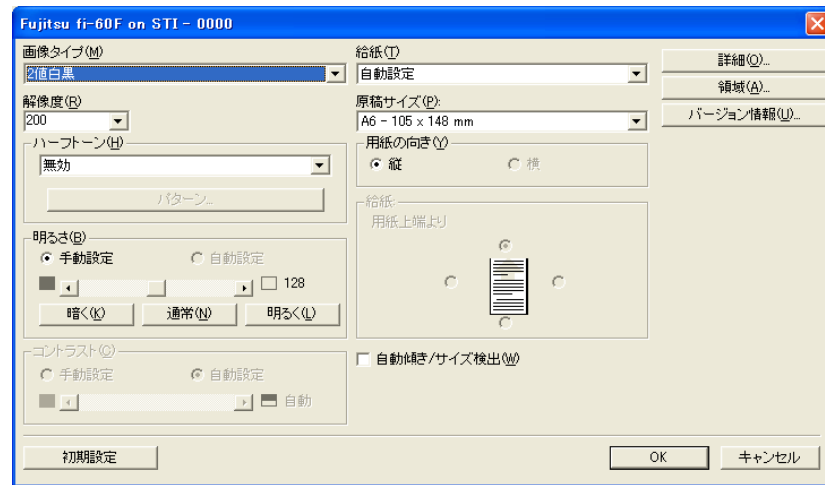
- 8) [スキャンプロファイルエディタ] ダイアログが表示されます。[新規バッチ] ダイアログに戻る場合は、[OK] ボタンをクリックします。
- 9) 読み取る原稿を原稿台にセットしてください。
- 10) [スキャン] ボタンをクリックすると読み取りが開始されます。



⇒ 原稿が読み取られ、画面にイメージが表示されます。

QuickScan の機能や操作については、「QuickScan について」もしくは「QuickScan ヘルプ」を参照してください。[スタート] メニューから [すべてのプログラム] – [EMC Captiva] – [QuickScan] を選択し、参照するファイルを開いてください。

ISIS ドライバの設定



画像タイプ

メニューから使用する色調モードを選択します。以下のモードが設定できます。

- | | |
|----------------|--|
| 2 値白黒 | 白黒 2 値のしきい値にしたがって原稿を読み取ります。設定したしきい値に従って白と黒が判別されます。このモードは線画や文字の読み取りに適しています。 |
| 16- 階調グレースケール | 原稿は 14 段階の中間階調と白黒の 2 階調で読み取ります。このモードでは 1 ピクセルあたり 4 ビットを使用します。 |
| 256- 階調グレースケール | 原稿は 254 段階の中間階調と白黒の 2 階調で読み取ります。このモードでは 1 ピクセルあたり 8 ビットを使用します。 |
| 24- ビットカラー | 原稿は 24 ビットフルカラーで読み取られます。このモードはカラー写真の読み取りに適していますが、グレースケールモードよりメモリを消費します。 |

画像処理

このモードを利用するには、別売りの画像処理ソフトウェアオプションがインストールされている必要があります。詳しくは「画像処理ソフトウェアオプション取扱説明書」を参照してください。

解像度

1 インチあたりのピクセル数（ドット数）を指定します。指定には、あらかじめ設定された解像度を一覧から選択するか、50 から 600 の間の値を入力します。解像度が高いほど消費されるメモリも増加します。

ハーフトーン

リストからハーフトーンのパターンを選択します。この項目は画像タイプで2値白黒が設定されている場合に有効になります。

濃い写真画像用	色調の濃い写真の読み取りに適しています。
濃い文字+写真混在用	文字と写真を含んだ色調の濃い原稿の読み取りに適しています。
淡い写真画像用	淡い色調の写真の読み取りに適しています。
淡い文字+写真混在用	文字と写真を含んだ色調の淡い原稿の読み取りに適しています。
誤差拡散法	ピクセル間の格差が最小化されます。
ダウンロード	ダウンロードしたディザパターンを用いて処理を行います。

明るさ

1（最も暗い）から255（最も明るい）までの値でイメージ全体の明るさを設定します。画像を明るくするには値を高くし、暗くするには値を低く設定します。

コントラスト

読み取った画像のコントラストを設定します。1（ソフト）から100（シャープ）までの値でイメージ全体の明るさを設定します。陰影を際立たせる場合は値を高く設定します。

原稿サイズ

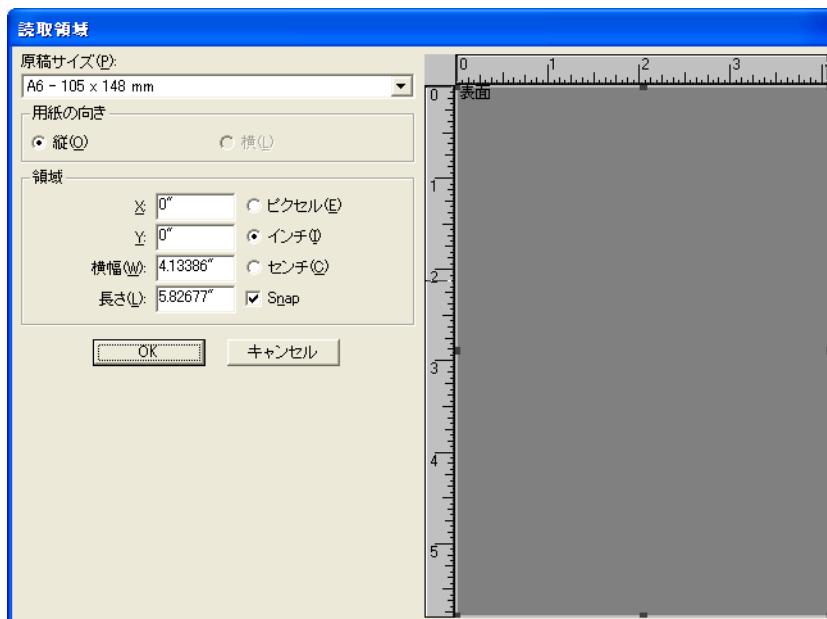
読み取る原稿のサイズを指定します。リストの中から任意のサイズを選択します。

自動傾き/サイズ検出

原稿のサイズを検出し、読取った画像をそのサイズで出力します。また、原稿が傾いた状態で読取られた場合は、同時に原稿の傾きを検出してその傾きを自動で修正します。

[領域...] ボタン

「読取領域」画面を表示します。原稿サイズに対する読み取り領域を指定します。領域枠をマウスでドラックして、大きさを調整することができます。また、数値を直接入力して指定することもできます。

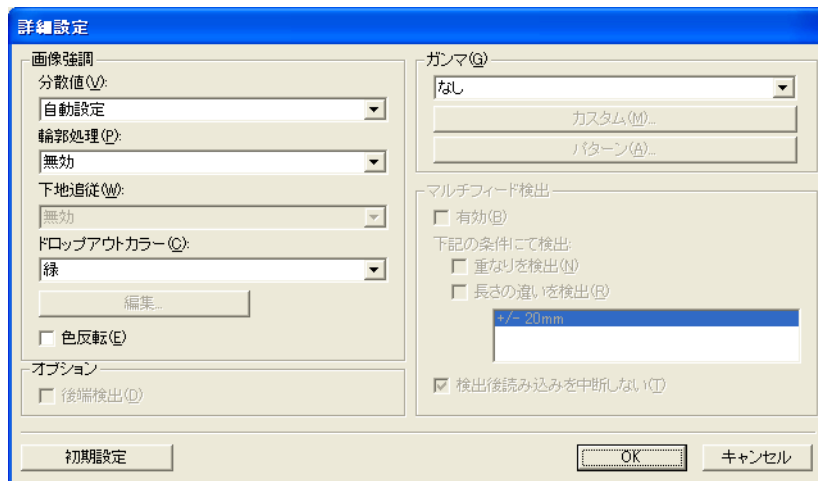


[バージョン情報] ボタン

バージョン情報を表示します。

[詳細...] ボタン

その他のオプション機能の設定に使用します。



ガンマ

ガンマ補正の設定を行います。補正パターンには、なし、ソフト、ハード、ダウンロード、カスタム、明るめの6通りの設定が可能です。

分散値

画像の明るさに応じて分散値を設定します。

輪郭処理

読み取った画像のシャープさを指定します。

- 弱、中、強 輪郭を強調します。処理の度合いは、弱、中、強の3種類です。
- スムージング 曲線部のギザギザを取り除き、輪郭を滑らかにします。

ドロップアウトカラー

指定した色（光の3原色：赤、青、緑および「なし」が選択可能）を読み取った画像から消します。たとえば原稿に緑色の枠で囲まれた黒い文字がある場合、文字だけを読み取って緑色の枠を消すように設定ができます。「なし」を選択した場合は、ドロップアウトをしません。

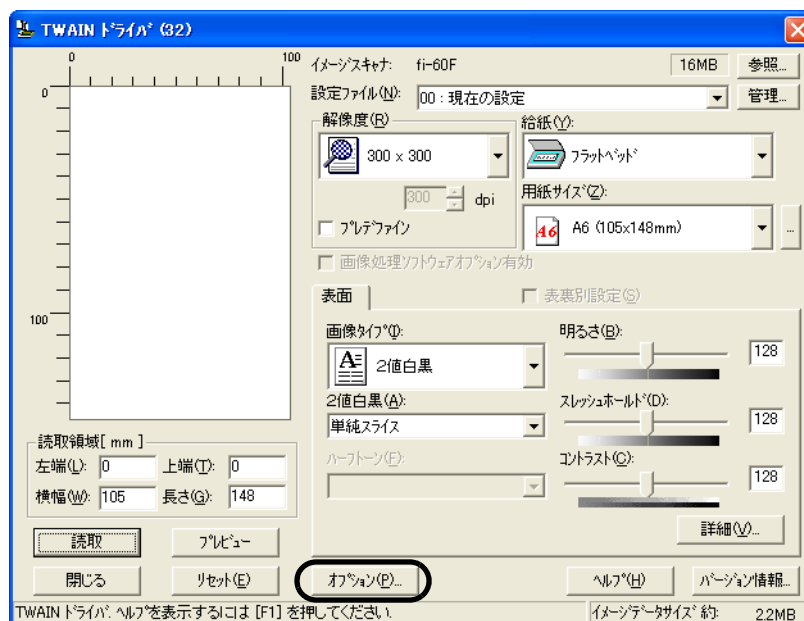
色反転

読み取った画像の白と黒を反転します。

1.4 原稿の傾きを自動で補正したいとき

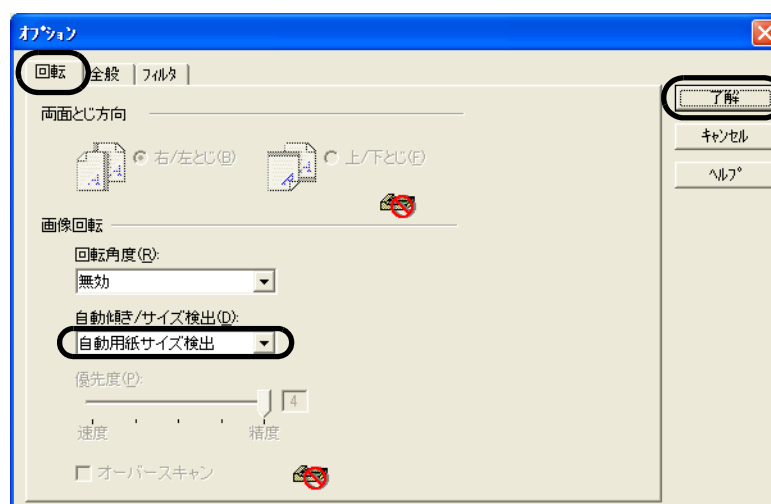
原稿を読み取る際、原稿が傾いて読み取られた場合は、「TWAIN ドライバ」の「自動用紙サイズ検出」機能を使って、自動的に傾きを検出・補正して出力することができます。「自動用紙サイズ検出」は、[TWAIN ドライバ] ダイアログボックスの設定を変更して行います。以下に [TWAIN ドライバ] ダイアログボックスの設定を変更する手順を示します。

1. [TWAIN ドライバ] ダイアログボックスの [オプション] ボタンをクリックします。



⇒ [オプション] ダイアログボックスが表示されます。

2. [回転] タブをクリックします。
3. [自動傾き / サイズ検出] メニューから「自動用紙サイズ検出」を選択します。



4. [了解] ボタンをクリックします。
⇒ 画面が [TWAIN ドライバ] ダイアログボックスに戻ります。



下記のような原稿を読み取る場合は、正確に自動原稿サイズ検出ができないことがあります。

- ・長方形でない原稿
- ・端を濃く塗りつぶした原稿

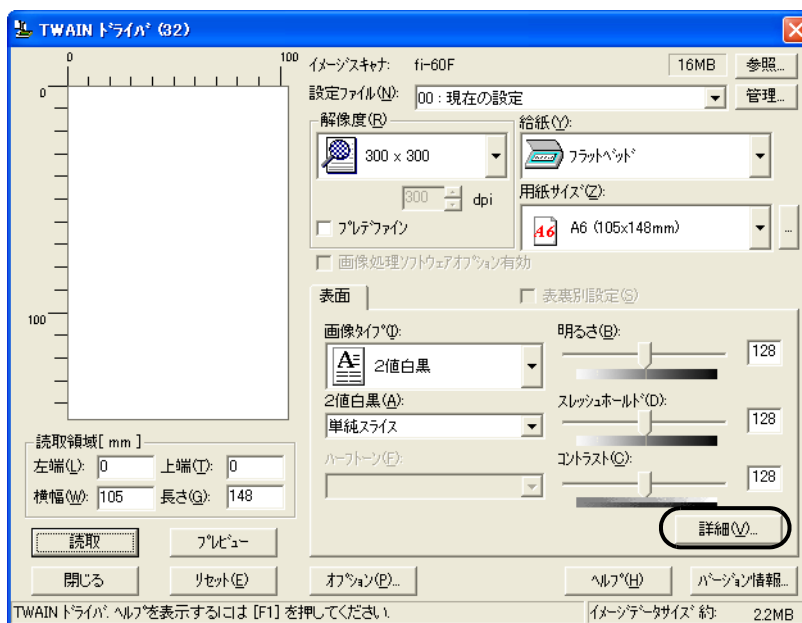
1.5 指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき

緑、赤、青（光の三原色）の中から、選択した色の部分を除いて読み取ることができます。たとえば、黒い文字と緑色の枠がある原稿の黒い文字の部分だけを読み取ることができます。ドロップアウトカラーを設定するときは、[TWAIN ドライバ] ダイアログボックスの設定を変更します。



ドロップアウトカラーは、2 値白黒、グレースケール読み取り時だけ指定可能です。

1. [TWAIN ドライバ] ダイアログボックスの [詳細] ボタンをクリックします。



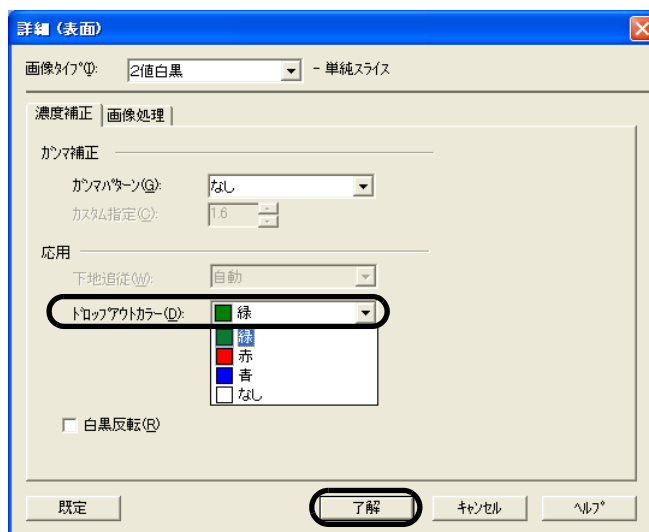
⇒ [詳細] ダイアログボックスが表示されます。

1.5 指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき

2. 「応用」の「ドロップアウトカラー」から、除きたい色を指定します。

たとえば、緑色の枠がついた黒い文字の原稿を読み取る場合で、黒い文字の部分だけを読み取るときは、「緑」を指定します。

「なし」を選択した場合はドロップアウトを行いません。



3. 「了解」ボタンをクリックします。

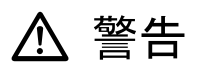
[TWAIN ドライバ] ダイアログボックスに戻ります。
続けて、読み取り操作してください。

第2章



日常のお手入れ

この章では、スキヤナの清掃方法について説明します。



警告





清掃などの目的でエアスプレー及びアルコール 等を含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、埃などが装置内部に侵入し、故障や装置異常の原因となる場合があります。
また、静電気などによるスパーク (火花) により引火する恐れがあります。

2.1 清掃用具	24
2.2 スキヤナの清掃をします	25

2.1 清掃用具

清掃用具を以下に示します。

清掃用具	型名	備考
クリーナ F1 	FI-C100CF1 (*1)	1 ボトル (100 ml) 布にしみこませて清掃します。
クリーニングワイプ 	FI-C100CW	1 箱 (24 袋入り) クリーニングワイプは、クリーナ F1 をしみこませたウェットティッシュタイプのクリーナです。クリーナ F1 を布にしみこませる代わりに、本品を使用することができます。
乾いた布	市販のもの	

*1) 大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナ液が残らないように柔らかい布で本剤をよく拭き取ってください。

清掃用具の詳細については、スキャナをご購入された販売会社、または株式会社 PFU PFU ダイレクトにお問い合わせください。

株式会社 PFU PFU ダイレクト

お問い合わせ先

E-mail : shop@pfu.fujitsu.com

電話 : 0120-14-4541

お問い合わせ内容の正確な把握ならびに当社における対応内容の管理のため、お問い合わせ内容を録音させていただく場合があります。

ホームページ : <http://www.pfu.fujitsu.com/direct/>

受付時間 : 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

(土・日・祝日・年末年始・当社休業日を除く)

2.2 スキャナの清掃をします

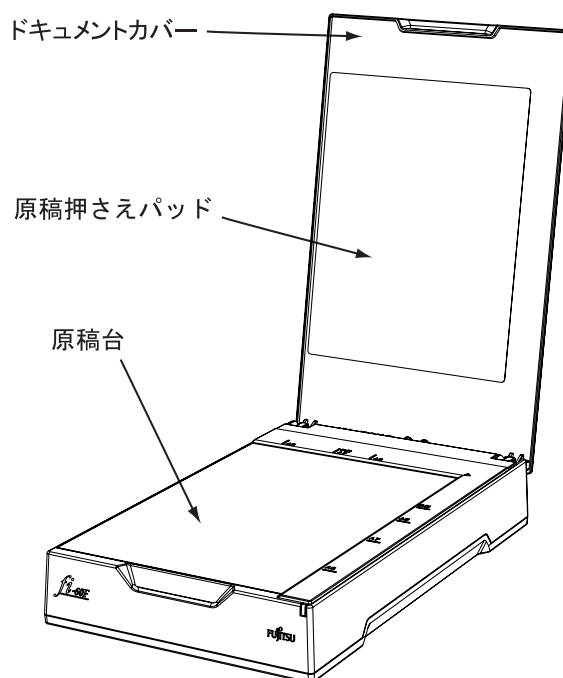


まっぴー!

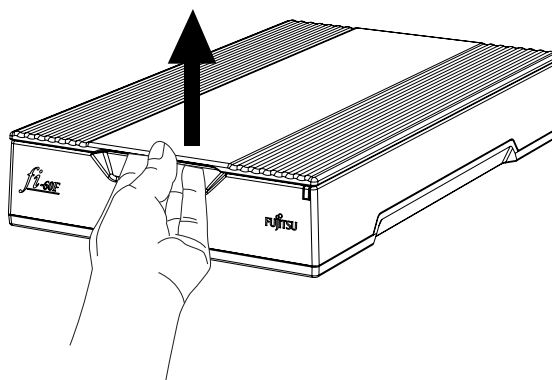
クリーナ F1 の代わりに窓拭き用洗剤やガラス用クリーナなどもお使いいただけますが、シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。

以下に、清掃が必要なフラットベッドの各部の名称を示します。

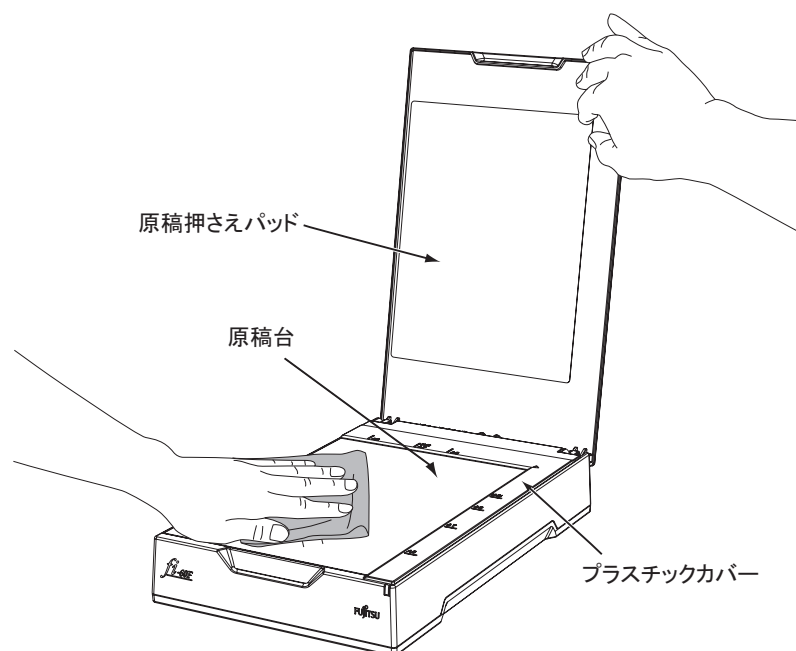
- 原稿押さえパッド
- 原稿台



1. ドキュメントカバーを開きます。



2. クリーナ F1 を浸した布で、以下の箇所を清掃します。



- 原稿押さえパッド
軽く清掃します。
- 原稿台
軽く清掃します。



- 原稿台とプラスチックカバーの隙間にクリーナがしみこまないように注意してください。
- 大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナ液が残らないように柔らかい布で本剤をよく拭き取ってください。

3. 乾くまで待ちます。
4. ドキュメントカバーをゆっくりと閉じます。

第3章

困ったときには

この章ではトラブルの対処方法、サービスセンターに連絡する前にお調べいただきたい項目、および装置ラベルの確認方法について説明します。

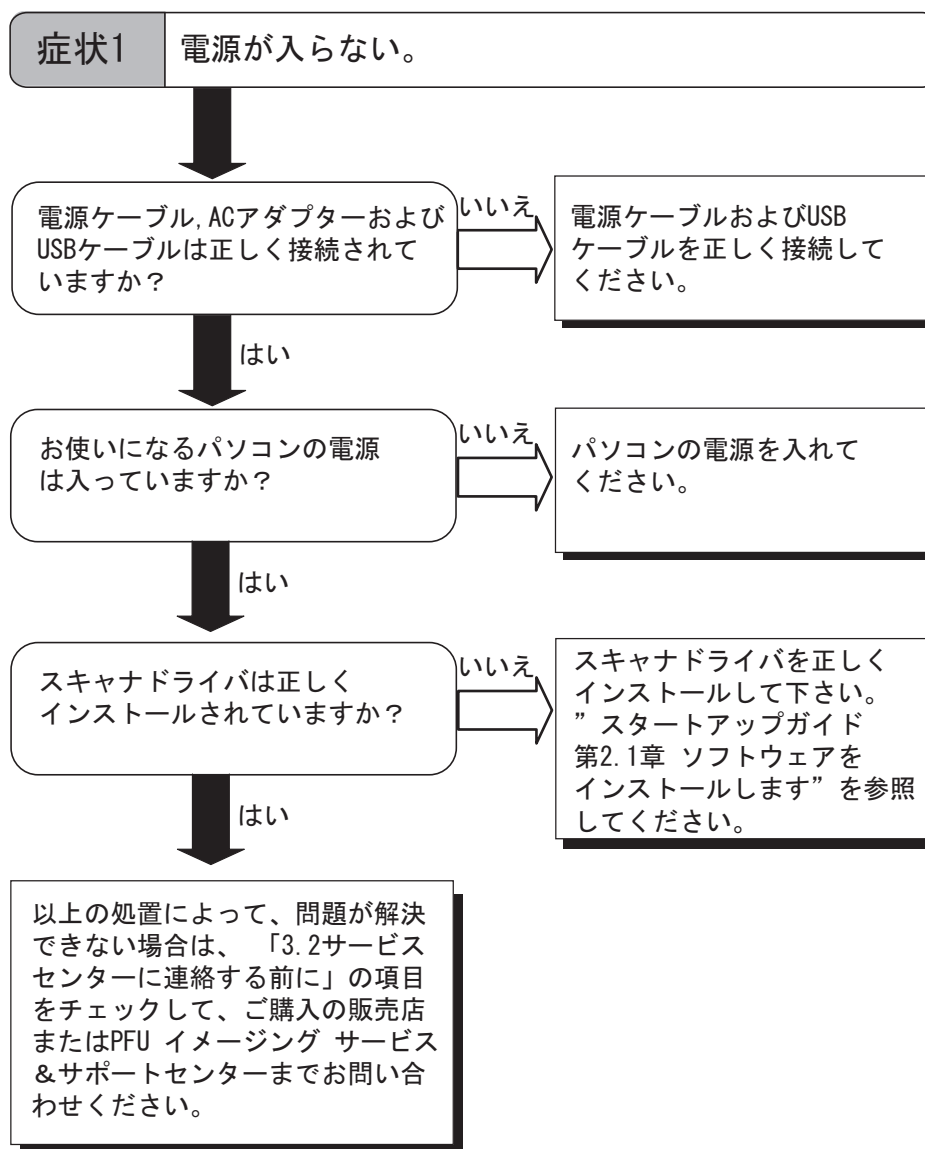


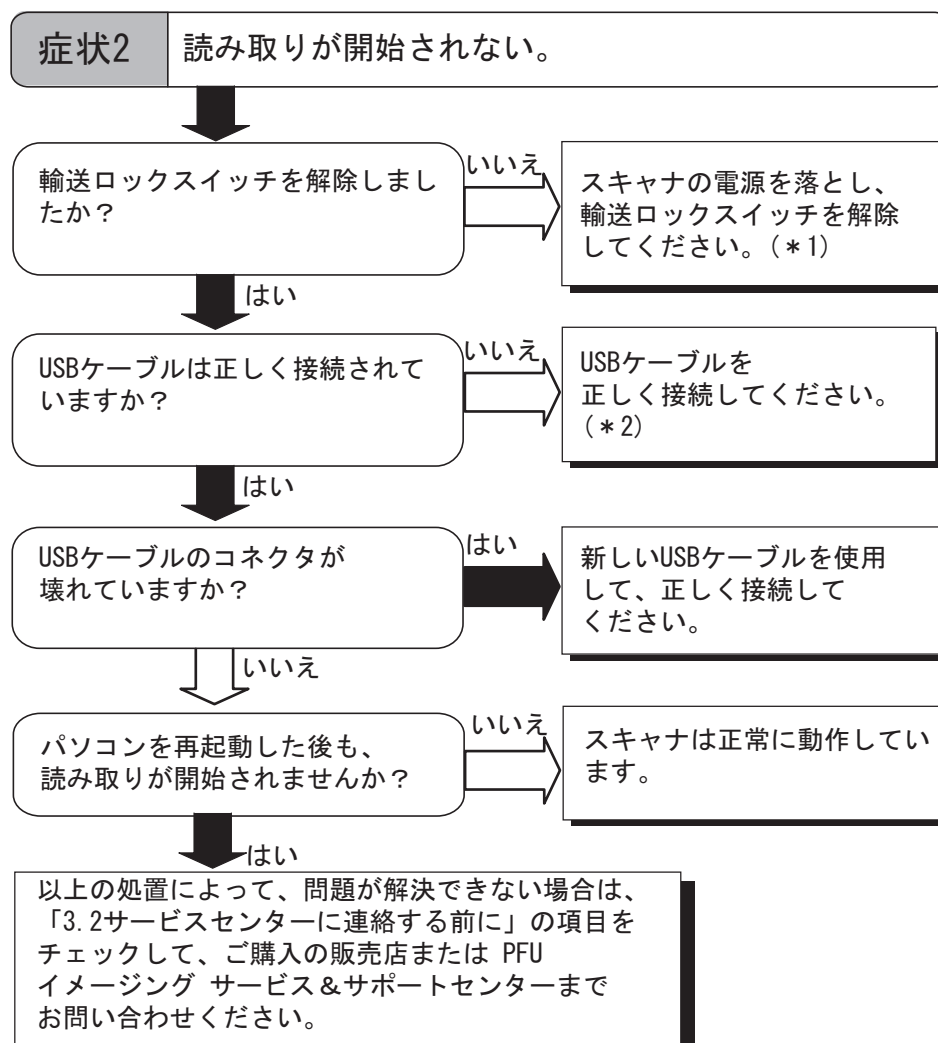
記載されている内容以外のトラブル、およびエラーの詳細については、TWAIN
ドライバのヘルプを参照してください。

3.1 困ったときには	28
3.2 サービスセンターに連絡する前に.....	34
3.3 装置ラベルの確認.....	36

3.1 困ったときには

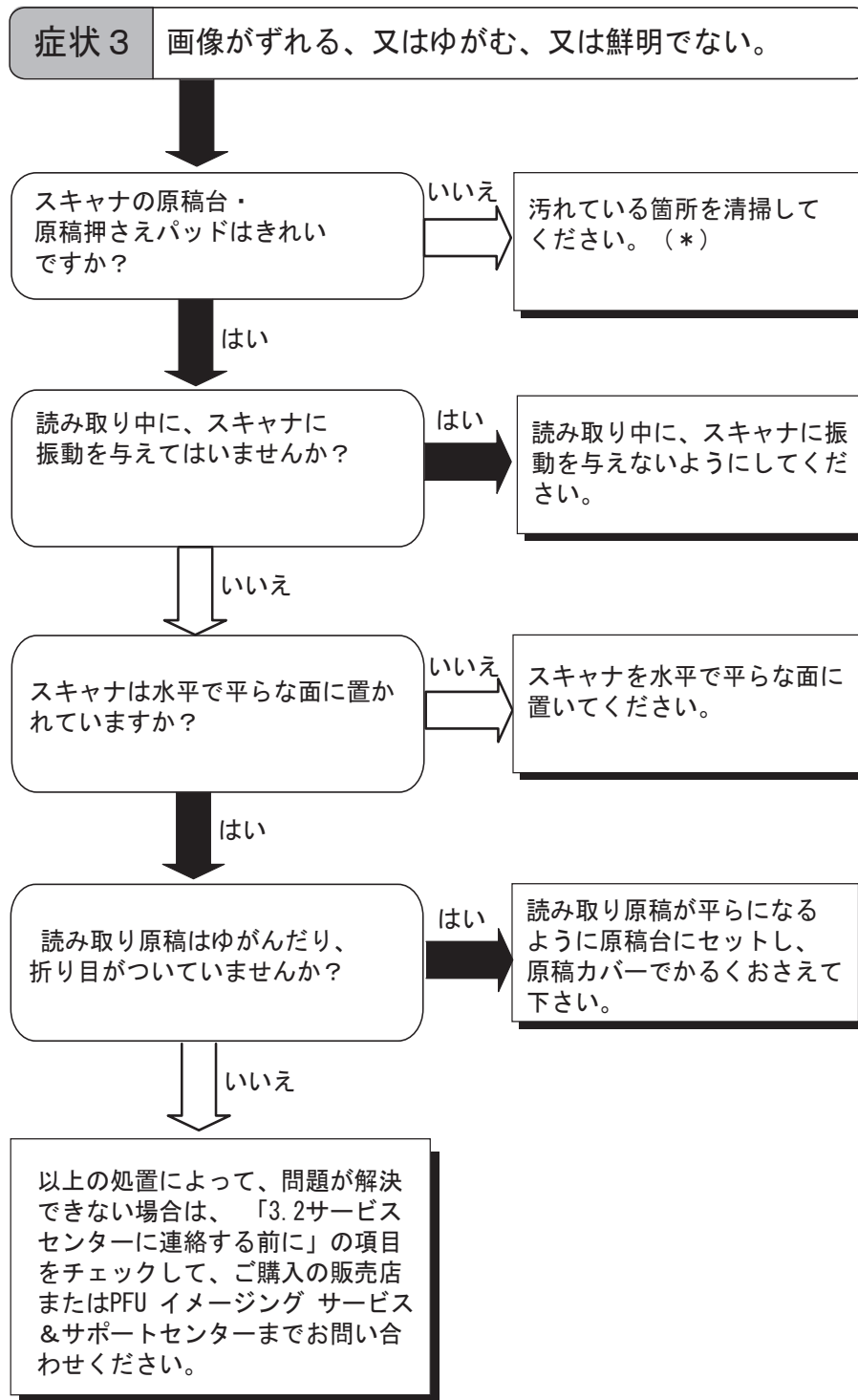
スキャナの使用中に発生するトラブルとその対処方法について説明します。
修理を依頼される前に、次の項目を点検してください。
項目を点検しても直らない場合は、「3.2 サービスセンターに連絡する前に」（34 ページ）の各項目を確認して、ご購入の販社/販売店、または「株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンター」（RM-2 ページ）にお問い合わせしてください。



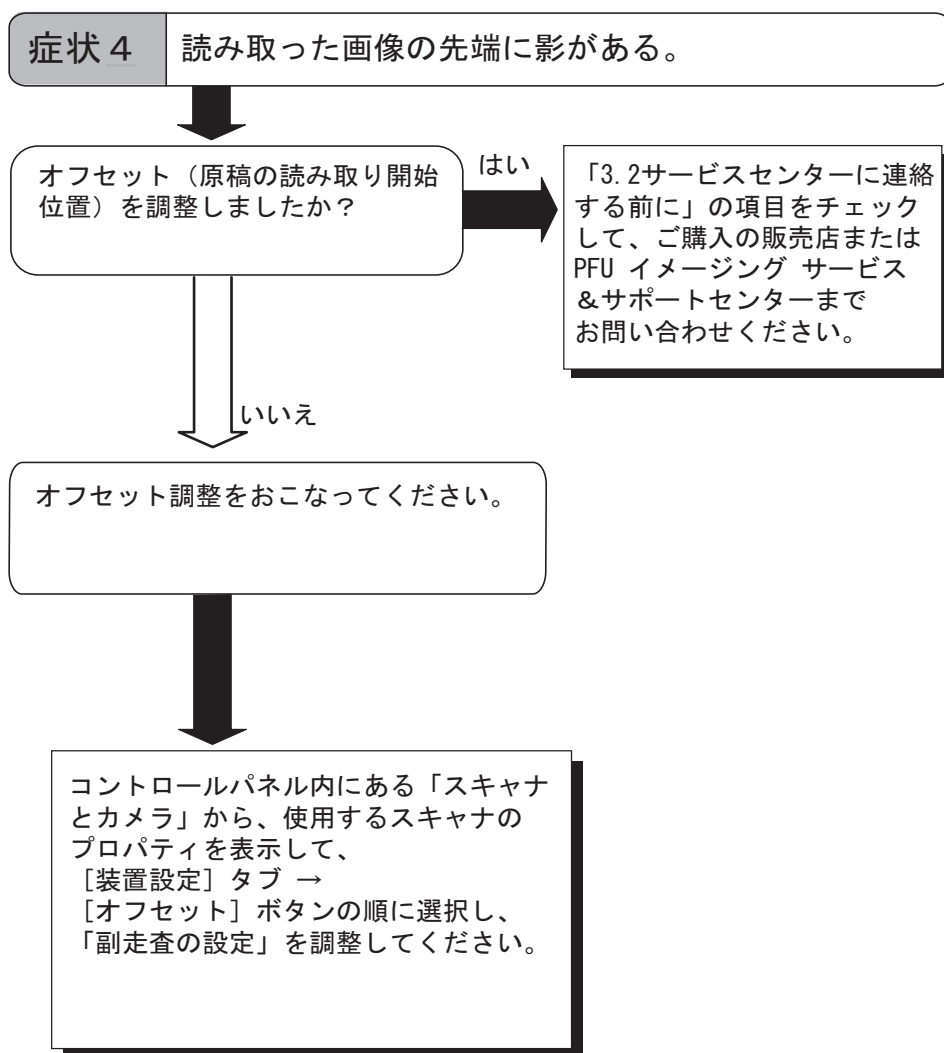


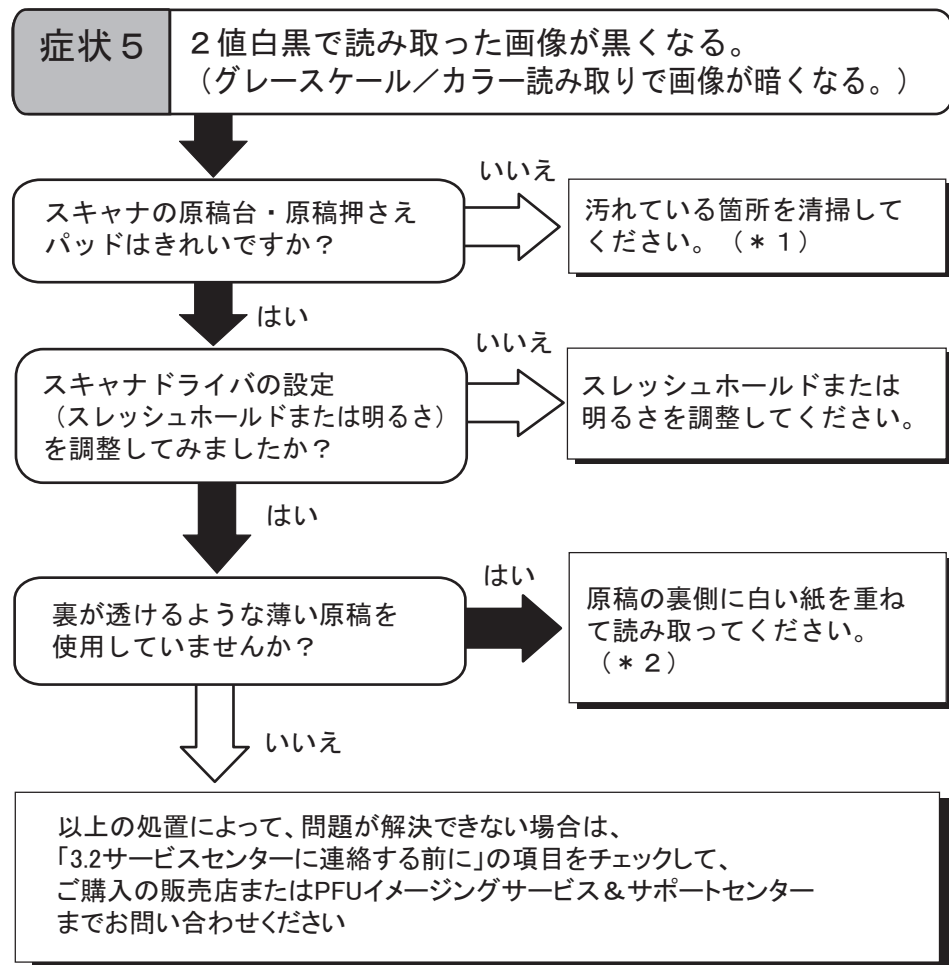
* 1) 「スタートアップガイド 2.2 スキャナを設置します」を参照してください。

* 2) 「スタートアップガイド 2.3 スキャナとパソコンを接続します」を参照してください。



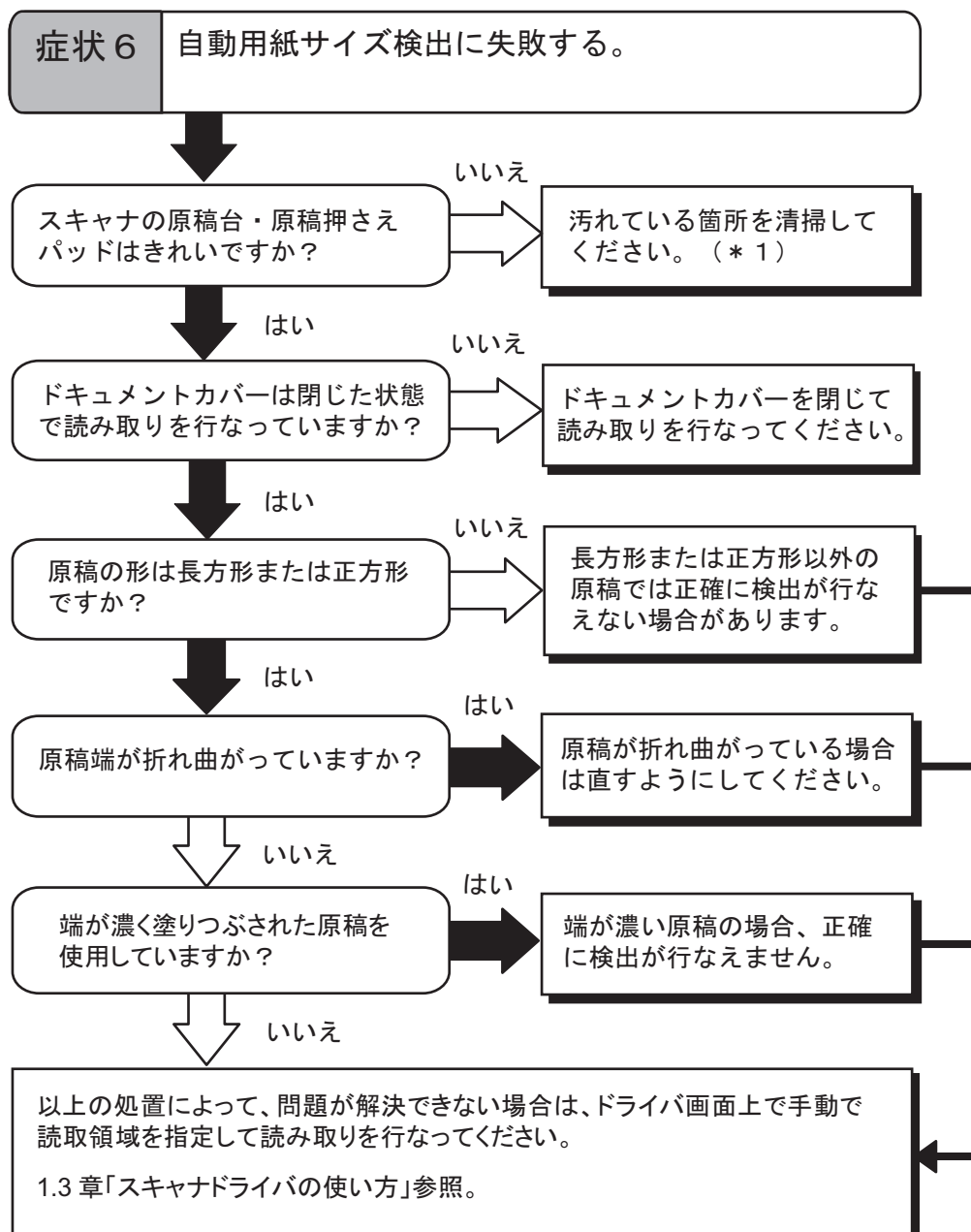
*）汚れている箇所の清掃方法については、「第2章 日常のお手入れ」（23 ページ）を参照してください。





*1) 汚れている箇所の清掃方法については、「第2章 日常のお手入れ」(23ページ)を参照してください。

- *2) ・原稿裏面に文字等がある場合、裏写りする場合があります。
 ・「傾き補正/自動用紙サイズ検出」を使用する場合は、原稿と同一サイズの白紙を重ねるようにしてください。



*1) 汚れている箇所の清掃方法については、"第2章 日常のお手入れ" (23 ページ) を参照してください。

3.2 サービスセンターに連絡する前に

当社のサービスセンター（株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンター（RM-2 ページ））に連絡する前に、以下の項目をお調べ願います。

■ 概要

調べる項目	調査結果
装置名（モデル）	（例） fi-60F 装置名については、「3.3 装置ラベルの確認」（36 ページ）を参照してください。
製造番号（シリアルナンバー）	（例） 000001 製造番号については、「3.3 装置ラベルの確認」（36 ページ）を参照してください。
製造年月日	（例） 2007-12（2007 年 12 月） 製造年月日については、「3.3 装置ラベルの確認」（36 ページ）を参照してください。
購入年月日	
症状	
故障頻度	
保証書の有無	

■ エラーの状況

■ パソコン接続時の問題

調べる項目	調査結果
OS (Windows) の種類	
画面のエラーメッセージ	
インターフェースの種類	(例) USB 2.0
インターフェースコントローラの種類	(例) Intel 社製 82801EB

■ 画像系の問題

調べる項目	調査結果
スキャナドライバの種類と版数	
インターフェースコントローラの種類	(例) Intel 社製 82801EB
OS (Windows) の種類	
アプリケーションソフトウェアの種類	(例) ScandAll PRO Lite

■ その他

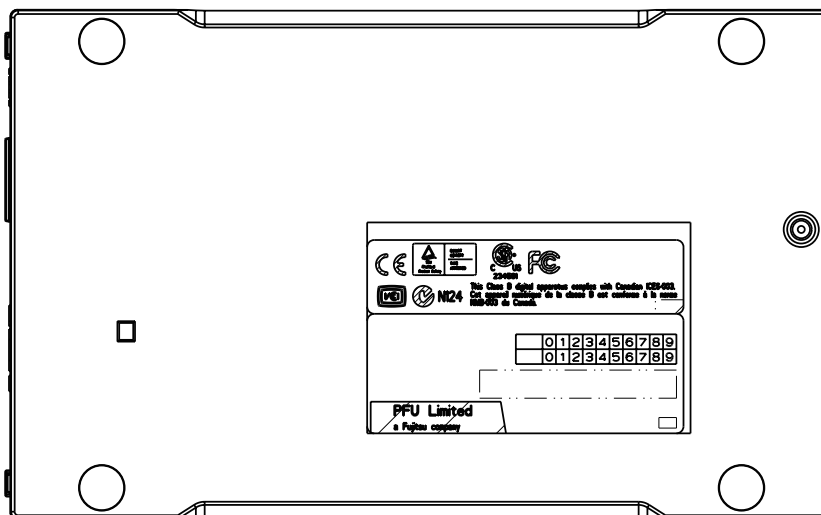
調べる項目	調査結果
原稿と出力紙の両方を、Eメール、または Fax で送ることは可能ですか？	

3.3 装置ラベルの確認

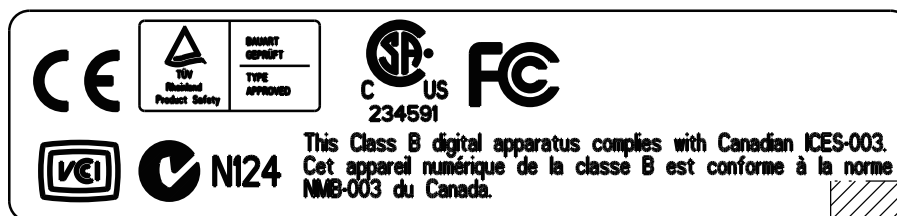
ここでは、ラベルの確認のしかたについて説明します。

■ ラベルの位置（装置底面）

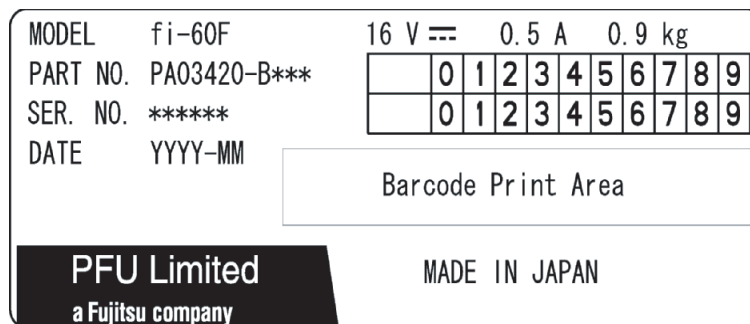
ラベルの位置を以下に示します。



ラベル A（例）：装置が適合する規格について示しています。



ラベル B（例）：装置の情報を示しています。



第4章



スキャナの仕様

この章では、スキャナの仕様について説明します。

4.1 装置基本仕様	38
4.2 設置諸元	39
4.3 外形寸法	40

4.1 装置基本仕様

1	スキャナタイプ	フラットベッド	-
2	イメージセンサー	CMOS IC	
3	光源	LED 光源 (赤、緑、青)	
4	読み取り範囲	最大	148 x 105mm A6
5	読み取り速度 (* 1)	バイナリ (2 値白黒)	1.0 秒 200 dpi, 最大のサイズ、USB 2.0
		カラー	1.3 秒 150 dpi, 最大のサイズ、USB 2.0
6	光学解像度	600 dpi	-
7	出力解像度	バイナリ (2 値白黒)	50 ~ 600 dpi 1 dpi ごとに変倍可能
		グレースケール	50 ~ 600 dpi 1 dpi ごとに変倍可能
		カラー	50 ~ 600 dpi 1 dpi ごとに変倍可能
8	読み取り階調	各色 8 ビット	内部 16 ビット
9	出力モード (中間調)	ディザ / 誤差拡散	-
10	インターフェース (* 2)	USB2.0 / 1.1	B タイプ

* 1) 読み取り速度は、ハードウェアの最大速度であり、実際の読み取り時間にはデータ転送時間などのソフトウェアの処理時間が付加されます。

* 2) USB 2.0 を使用する場合、ポートやハブは USB 2.0 に対応していなければなりません。USB 1.1 を使用すると、読み取り速度が減少することがあります。お使いになるパソコンに USB 2.0 に対応するポートがあれば、ご使用ください。

4.2 設置諸元

項目		仕様		
外形寸法 (mm) (突起部を除く)		奥行き	幅	高さ
		234	145	40
設置スペース (mm)		奥行き	幅	高さ
		281	145	257
重さ (kg)		0.9		
入力電源	電圧範囲	AC100 ~ 120 V ± 10 %		
	相	単相		
	周波数範囲	50/60 ± 3 Hz		
消費電力		8W 以下 (定格電力) 低電力時 : 2W 以下 電源切断時 : 1W 以下		



まっ！

設置スペースの値は、ドキュメントカバーを開閉するために必要な設置スペースの参考値です。

項目		仕様	
動作環境	装置状態	動作中	非使用時
	温度	5 ~ 35 °C	- 20 ~ 60 °C
	湿度	20 ~ 80 % (結露なきこと)	8 ~ 95 %
発熱量		6.1 kcal/H 以下	
出荷時重量 (kg)		2.0	
サポート期間		5 年	

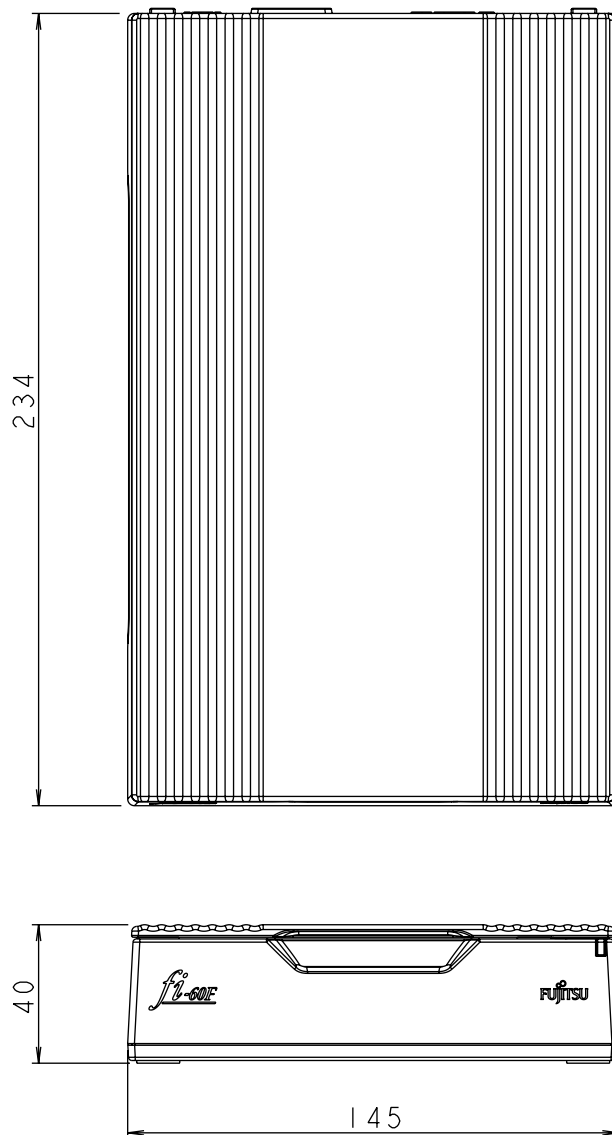


まっ！

保守サポート期間は、お客様の購入後 5 年間です。
本装置の修理部品の最低供給期間は製造中止後 5 年間です。

4.3 外形寸法

fi-60F の外形寸法は以下のとおりです。



(単位 : mm)

索引

あ行

イメージセンサー	38
インターフェース	38

か行

外形寸法	39, 40
傾き自動補正	18
光学解像度	38
光源	38

さ行

サービスセンター	34
重量	39
出荷時重量	39
出力解像度	38
出力モード	38
仕様	
イメージセンサ	38
外形寸法	39
光学解像度	38
光源	38
重量	39
出荷時重量	39
出力解像度	38
出力モード	38
消費電力	39
スキャナ	37
スキャナタイプ	38
設置スペース	39
動作環境	39
入力電源	39
発熱量	39
読み取り階調	38

読み取り速度	38
読み取り範囲	38
消費電力	39
スキャナ	37
スキャナタイプ	38
スキャナドライバの設定	
ISIS ドライバ	14
TWAIN ドライバ	8
スキャナドライバの使い方	5
清掃箇所	24
清掃用具	24
クリーナー F1	24
設置スペース	39
説明	
スキャナ	37
装置ラベル	36

た行

低電力モード	2
電源投入	2
動作環境	39
トラブルシューティング	28

な行

入力電源	39
------	----

は行

発熱量	39
フラットベッドの清掃	25
フラットベッドを使って原稿を読み取り	3

や行

読み取り階調.....	38
読み取り速度.....	38
読み取り範囲.....	38

I

ISIS ドライバ.....	11
----------------	----

T

TWAIN ドライバ.....	5
-----------------	---

修理・お問合せについて

当社では、お客様に安心してイメージスキャナ fi シリーズをご使用いただけるよう、万全のサポート体制を整えています。
購入時にご加入頂く契約サービスと、必要な時にその都度ご利用いただけるスポットサービスにより、お客様を強力にバックアップいたします。

■ 契約サービス

契約サービスには、以下の 2 種類のサービスメニューがあります。

□ 定額訪問修理サービス

機器の故障発生には、直ちにサービスマンが伺い、迅速で確実な修理作業を行います。
メーカー直接保守による高度な技術と迅速な保守対応を行います。
全国サービスネットによる迅速な保守対応を行います。

□ 定額定期保守サービス

お客様に安心して機器を使用して頂くために、年一回サービスマンが点検作業に伺います。
機器の故障発生時は上記と同等なサービス対応を行います。
機器点検により品質の維持と障害を未然に防止します。

オプション装着時は、スキャナ本体価格と搭載オプション製品の合計金額となります。消耗品はお客様の費用負担となります。

■ スポットサービス

スポットサービスには、以下の 2 種類のサービスがあります。

□ センドバック修理サービス

修理窓口まで機器を持ち込んで頂き修理を行います。

SENDバック修理サービス	持込基本料 + 部品費 * 送料：発送元負担
引き取り修理サービス（付加）	指定日に修理機を引き取ります。
代替機サービス（付加） * 1 * 2	修理中に代替機を貸出します。 （引き取りと併用）

* 1) 代替機については、同一機種ではなく、同等機能をもつ機種になることがあります。

- * 2) 代替機サービスは、引き取りサービスとの併用でのみご利用できます。代替機サービスのみのご利用はできません。ご了承下さい。

キャンセル料	持ち込み診断後、交換部品が高価なため修理をキャンセルする場合などにかかります。
--------	---

□ オンサイト修理サービス

機器の故障発生時にご連絡頂き、その後、サービスマンが直接修理に伺います。

オンサイト修理サービス	訪問基本料金（作業時間＝1時間まで）＋部品費＋オプション料金＋加算料金（技術料金、その他加算料金）
-------------	---

スポットサービスの場合の故障・修理、および各種お問い合わせ	
受付窓口	株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンター
E-mail	scanners@pfu.fujitsu.com
電話	0120-37-9089 042-788-7746（携帯電話からおかけの場合） お問い合わせ内容の正確な把握ならびに当社における対応内容の管理のため、お問い合わせ内容を録音させていただく場合があります。
受付時間	9:00～12:00、13:00～17:00 （土・日・祝祭日・年末年始・当社休業日を除く）
ホームページ	http://imagescanner.fujitsu.com/jp/support/

なお、本サービス内容は、予告なく変更される場合があります。
詳細につきましては、当社ホームページでご確認いただくか、または 株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンターまでお問い合わせください。

- 本製品の修理はお客様自身では行わないでください。
- 本製品の保証条件については、製品に同梱の当社の保証書の規定をご確認ください。保証書には所定事項をご記入の上、大切に保管してください。
- 本製品の修理部品（＝製品の消耗部品、機能維持に必要な部品）の最低供給期間は、製品の製造打ち切り後5年間です。

fi-60F

イメージスキャナオペレーターガイド

P3PC-1112-06Z0

発行日 2011年10月

発行責任 株式会社PFU

- 本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責任を負いません。
- 無断転載を禁じます。